

| | | | | |
|---------------|---|-----------|---|---------|
| 授業科目名 | 社会的養護Ⅱ | | 担当教員名 | 入江 実 |
| 必修/選択 | 必修 | 開講学年・学期 | 3年 後期 (年間開講数 1講座) | |
| 科目区分 | 教職・保育に関する科目 | 単位数 | 1単位 (15時間) | |
| 施行規則に定める科目区分等 | 保育の内容・方法の理解に関する科目 | 授業方法/担当形態 | 演習 / 単独 | |
| | | 特記事項 | ※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。 | |
| 授業の概要及び全体目標 | 社会的養護の中心となる児童養護施設での児童の入所、そして生活、最終目標である退所に向けての対応を物語風にまとめたプリントを活用して、自らが感じたことや学習したことをレポートにまとめた報告していくという演習形式で進める。 | | | |
| 到達目標 | (1)子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解する。 (2)施設養護及び家庭養護の実際について理解する。 (3)社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する。 (4)社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解する。 (5)社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解する。 | | | |
| テキスト | 「新・ファミラス/保育/福祉 社会的養護内容」谷口純世/山縣文治編著 (ミネルヴァ書房) | | | |
| 参考書・参考資料等 | 指定せず | | | |
| 成績評価の方法 | ○参加意欲：20% ○新聞記事によるレポート：30% ○定期試験：50% | | | |
| 授業計画 | 授業の内容 | | | 到達目標番号 |
| 第1回 | 講義の進め方 | | | |
| 第2回 | 児童施設入所 (新入所児童) | | | (1),(2) |
| 第3回 | 児童の施設生活① (余暇活動) | | | (2),(3) |
| 第4回 | 児童の施設生活② (家がえの季節) | | | (3),(4) |
| 第5回 | 児童の施設生活③ (生活発表会) | | | (3),(4) |
| 第6回 | 児童の退所に向けて (学習進路指導) | | | (3),(4) |
| 第7回 | 児童の退所 (旅立ち) | | | (5) |
| 第8回 | 全体のまとめ | | | |
| 定期試験 | 筆記試験 | | | |